

# バク通信

1140号

令和二年六月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条301-6

TEL (084) 960-2256

FAX (084) 960-2258

自治会5月の活動 「ボッチャ体験」

生活支援員 若井 将史

暖かいよりは暑い日が続くようになってきた今日この頃ですが、バクでは、コロナ対応に四苦八苦しながらも少しでも皆さんが笑顔で過ごせる様に日々取り組んでいます。

その中で今回「ボッチャ」という競技の体験をしました。「ボッチャ?なにそれ?」とお思いの方もいると思いますが、ボッチャとは白いボール(目標球)に赤・青のボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。屋内の床の上で、できるカーリングと言えれば想像しやすいかと思えます。相手のボールを弾いたりして自分が優位に立てる位置取りをしたり、的も弾いて移動させる事が出来るため、カーリングとは一味違う魅力のある競技です。実は2020年のパラリンピックでも実施予定だった今注目のスポーツです。ルールや、やっている様子は簡単そうに見えますが、実際にやってみるとボールが思い通りに転がらず、皆さん苦労されています。

ですが時間をかけて練習をするとコツを掴む方も増えて少しずつ的に近づける事が出来る様になり、ミラクルショットなども何回か見られました。参加者からは「これ面白いね!」「楽しい!」とゲーム中笑い声が響いていました。バクで大会を計画し好評であれば、クラブ活動等に繋がられたら素敵だなと考えております。



▼ 白的に向かって転がしています。



ボッチャは  
パラリンピックの競技にも  
なっています!



「ウエスの休憩時間」

生活支援員 堀家 めぐみ

今年度に入りウエスでは工場の片付けをしながら整理整頓を行っています。ウエス工場は広く見えますが、検針機や裁断機、原料などがたくさん置いてあり作業スペースが狭く感じる場合があります。その為、時間がある時に整理整頓を少しずつ行っています。

整理整頓をしてスペースを少しずつ確保できてきたので以前使っていた長いすを工場の入り口に写真のように並べてみました。休憩時間にはその長いすを利用して利用者さんや職員みなさんでお茶を飲んだり話したりしながら楽しく過ごしています。天気が良い日はさらに気持ちよく過ごさせています。

今はコロナウイルス対策として、少人数のグループ毎に休憩を取っています。みんなそろってこの場所で休憩できたらいいなと思っています。



みんなが休憩できる所が  
気持ちいいと いいね!



ウエス 憩いの場



「夏のギフト、承っております!」

目標工賃達成指導員 行廣 七海

6月になり、いつも美味しいジェラートがさらにおいしく感じられる季節になりました。アルコジャーノから夏のギフトについてのお知らせです!

フレーバーは全8種類。ミルク、バニラ、抹茶、チヨコレート、カフェモカの定番ジェラート6種類と、レモン、パイナップルの期間限定ジェラート2種類となっております。

パイナップルは、試作に試作を重ねて完成したフレッシュ感のあふれるジュシーなジェラートです。パイナップルをそのまま食べたような風味で、甘みと酸味が暑い夏をさわやかにしてくれると思います。

この夏イチオシの限定商品となっております。また、もう1つの期間限定商品であるレモンは、瀬戸内の温暖な気候で育った「瀬戸内レモン」を使用しています。さっぱりとした後味のレモンは、例年大人気商品となっております。

ギフト発送も承っております。日頃の感謝をこめたプレゼント・自分のご褒美としていかがでしょうか?



いかがですか?



▲ 1つ1つカップに詰めています。

2020 Summer アルコジャーノのジェラート

GELATO ITALIANO  
Arocogiano

アルコジャーノのジェラートは、常に手づくりを重視し、本物の材料を使い、材料そのものの味を活かしています。ミルク以上に乳脂肪の割合を、原料以上に糖質の割合が少なくジェラートを追求し、お客様へ常に本物の商品を届けたいと思います。

2020 Summer Arocogiano Gelato Gift プレミアムギフト

8種類のジェラートからお好きな組合せでお選びいただけます。

6個入	2,400円	8個入	2,900円	12個入	3,800円
-----	--------	-----	--------	------	--------

アルコジャーノ お問い合わせ先  
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 ゆめサポート・バク  
広島県福山市神辺町東中条301-6  
TEL: 084-960-2256 FAX: 084-960-2258

Arocogiano Information  
アルコジャーノは、昔による移動販売車を行っています。ジェラートの種類やスケジュールはこちらのQRコードからご覧いただけます。

「十人十色の名前の由来」

生活支援員 池田 由佳里

「十人十色」今では当たり前の様に使っていますが、この名前をつけるに至っては色々話し合いが行われました。

当時の所長、副主任、仕出し班職員で会議を開きました。その際一人数個、名前を持ち寄る事になりました。たくさん候補がありました。その中でもひときわ輝いていたのが十人十色でした。「十人それぞれの個性を出しあい一つのお弁当を作っていこう。」という意味が込められています。今だから言えますが中には「弁当一発屋」「ハイカラ弁当」(ハンバーグ、イカゲソ、唐揚げの頭文字をとったもの)等奇抜な候補もありました。

以前の所長曰く「こんなに笑った会議は初めて。」と言われた程楽しい雰囲気で行われた会議。その楽しさ、笑顔が今の十人十色の始まりだったと思います。



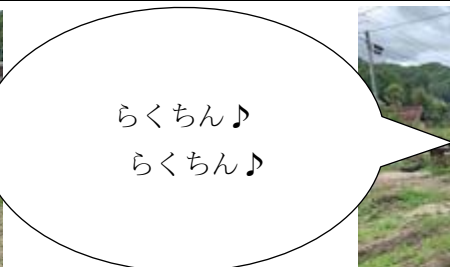
「水やり革命」

生活支援員 堀井 康臣

3月に種を撒いた人参は無事に芽がでてきて順調にすくすくと成長しています。これからも無事に育つことを祈りながら間引きや水やりの作業を頑張っています。

そんな中、画期的なものがファームにやってきました。なんと自動の水やり装置です。以前までは一輪車で水が入った重たいタンクを圃場まで1日何往復も運搬していました。暑い中では相当きつい作業でしたが、この装置を使用すれば水やりにかかる時間を大幅に短縮することが出来、利用者さんも取手を持つだけで水を撒くことができるようになりました。

これからどんどん暑くなってきましたが熱中症には気をつけながらみんなで団結し、暑さを乗り越えていきたいと思っています。



「こいのぼり」

生活支援員 佐々木 真衣子

爽やかな風から、初夏を感じられる季節になってきました。療育班の部屋には、そんな風の中で沢山のこいのぼりが泳いでいます。

このこいのぼりは、利用者さんと職員とで作った作品です！鱗を一枚一枚慎重に貼ったり、利用者さんが一人ひとり作られた色鮮やかな紙をちぎって貼り絵を作ったりしました。

また、Sさん得意の粘土を使った作品も作りました。粘土の形を整え・乾燥・着色を行い綺麗な色の鯉ができてきました。

風の勢いが強い時に飾ってみると、気持ちよさそうにプレイルームの中を泳いでくれました。利用者の皆さんは自分たちが作ったこいのぼりが泳いでいることに興味津々で、手を伸ばしてみたり、追いかけてみたりしていました。本当にステキなこいのぼりができました。

今は七夕に向けての飾りを作っています。短冊や、笹の葉を使って飾りを作り七夕の準備をしますが、こいのぼりを作った経験を生かして七夕も盛り上げたいと思います。



▲ 真剣な表情のSさん。

「温かい気持ち」

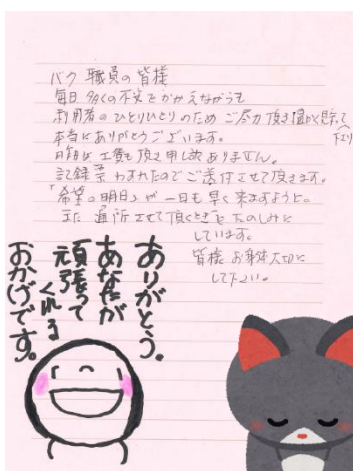
目標工賃達成指導員 行廣 七海

6月になってからも、コロナウイルスの猛威は衰えず自粛の日々が続いています。

バクでも未だにコロナウイルスを不安に感じる利用者さんが多く、手指消毒などの感染防止対策も続いています。職員はマスク着用必須、利用者さんにもマスクをつけるよう声掛けを行っています。

そんな中、Tさんのご家族からお手紙をいただきました。「希望の明日が一日も早く来ますように。また通所させて頂く時を楽しみにしています。」というお言葉と、可愛いイラストが付いていました。大変な今、このような優しいお言葉をいただき温かい気持ちになりました。

これからもバクでできる事は続けていき、利用者・職員一丸となってコロナウイルスに立ち向かっていきたいと思っています。



お手紙  
ありがとうございます。

6月の予定

- 6/20 土曜開所  
・七夕飾り作り
- 7/4 土曜開所  
・七夕ミニ行事 (予定)

6月

